

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-169716

(43)Date of publication of application : 14.06.2002

(51)Int.Cl. G06F 12/00
G06F 13/00
G06F 17/30
G06F 17/60

(21)Application number : 2001-144184 (71)Applicant : ONEMARKET CORP

(22)Date of filing : 15.05.2001 (72)Inventor : JIMMY HOAN
KYO SEIZAI

(30)Priority

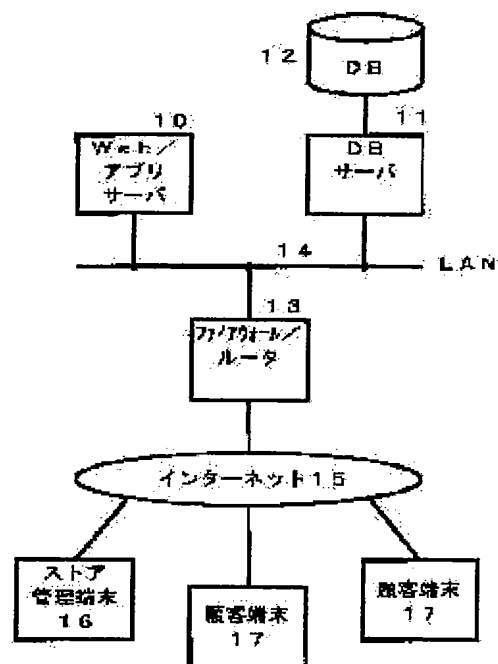
Priority number : 2000283085 Priority date : 19.09.2000 Priority country : JP

(54) WEB SERVER DEVICE, AND DEVICE AND SYSTEM FOR ELECTRONIC COMMERCE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a web server device and an electronic commerce device which make it possible easily to update, manage, and operate a system and contents without any technical knowledge.

SOLUTION: The web server device is equipped with a database means which stores a contents file group, correspondence to contents files by page, and information on links with other pages, plural templates which are prepared by page kind, and a means which generates an HTML file by analyzing a request from a terminal, reading a desired template out, and rewriting variables in the template. Here, a Web page of a virtual store is generated and managed by using the database, so links between pages can be constituted and the contents can be updated very easily and the Web system can be managed and operated without any technical knowledge. Specially, the larger the scale of the Web system, the more the effect.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-169716

(P2002-169716A)

(43) 公開日 平成14年6月14日 (2002.6.14)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
G 0 6 F 12/00	5 2 0	G 0 6 F 12/00	5 2 0 P 5 B 0 7 5
	5 4 6		5 4 6 T 5 B 0 8 2
13/00	5 6 0	13/00	5 6 0 A
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F
	2 3 0		2 3 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-144184(P2001-144184)

(22) 出願日 平成13年5月15日 (2001.5.15)

(31) 優先権主張番号 特願2000-283085(P2000-283085)

(32) 優先日 平成12年9月19日 (2000.9.19)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 500150045

株式会社ワンマーケット

東京都杉並区上荻2丁目21番25号

(72) 発明者 ジミー ホアン

東京都杉並区上荻2-21-25井口ビル2階

株式会社ワンマーケット内

(72) 発明者 許 盛財

東京都杉並区上荻2-21-25井口ビル2階

株式会社ワンマーケット内

(74) 代理人 100102336

弁理士 久保田 直樹 (外1名)

Fターム(参考) 5B075 ND36 PP13 PQ27

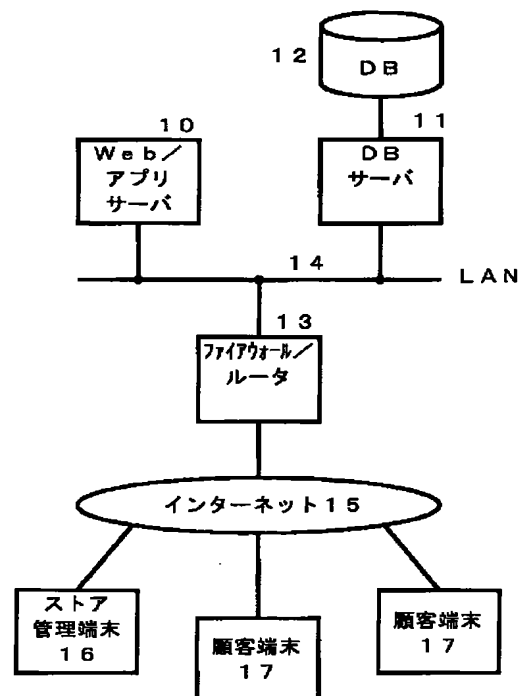
5B082 GA06 GA15 HA05 HA08

(54) 【発明の名称】 ウェブサーバ装置、電子商取引装置、電子商取引システム

(57) 【要約】

【課題】専門的知識が無くてもシステムやコンテンツの更新、管理、運用を容易に行うことが可能なウェブサーバ装置、電子商取引装置を提供すること。

【解決手段】ウェブサーバ装置は、コンテンツファイル群と、ページ毎にコンテンツファイルとの対応および他のページとのリンク情報を格納したデータベース手段と、ページ種別毎に用意された複数のテンプレートと、端末からの要求を分析し、所望のテンプレートを読み出し、テンプレート内の変数を書き換えることにより、HTMLファイルを生成する手段とを備える。本発明によれば、データベースを使用して仮想店舗のWebページの生成管理を行うので、ページ間のリンク構成やコンテンツの更新が非常に容易となり、専門的知識がなくてもWebシステムを管理運営でき、特にWebシステムが大規模になるほど効果が増す。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ページの内容に関するデータからなるコンテンツファイル群とページ毎に当該ページとコンテンツファイルとの対応および他のページとのリンク情報を格納したデータベース手段と、
ページ種別毎に用意された複数のテンプレートと、
端末からの要求を分析し、所望のページに対応するテンプレートを読み出し、前記データベース手段を参照して、テンプレート内の変数をコンテンツファイルの内容あるいはコンテンツファイルへのリンクに書き換えることにより、所望のページに対応するHTMLファイルを生成する生成手段と、
生成したHTMLファイルを端末へ送信する送信手段とを備えたことを特徴とするウェブサーバ装置。

【請求項2】 前記データベース手段は、ユーザ種別毎のトップページに対応する階層データのテーブル、階層内のページに相当し、内部に商品あるいは他のディレクトリを収容可能なディレクトリのテーブル、商品に関する説明や画像データを登録した商品データのテーブルを含むことを特徴とする請求項1に記載のウェブサーバ装置。

【請求項3】 更に、ユーザがディレクトリあるいは商品に関するページにアクセスした場合に、ディレクトリおよび商品についてアクセス数の記録を取るトラッキング手段を含むことを特徴とする請求項2に記載のウェブサーバ装置。

【請求項4】 請求項1に記載したウェブサーバ装置と、管理端末内のコンテンツファイル群とサーバ装置内のコンテンツファイル群の同期を取るアップロード手段と、データベース手段の内容を閲覧あるいは変更するデータベース管理手段とからなることを特徴とする電子商取引装置。

【請求項5】 請求項4に記載した電子商取引装置と、受注データに基づき前記データベース手段から所望のリストを読み出す端末側データベース管理手段と、前記アップロード手段と対応した端末側アップロード手段とを備えた管理端末と、
前記電子商取引装置と前記管理端末とを接続するネットワークとからなることを特徴とする電子商取引システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はウェブサーバ装置、電子商取引装置、電子商取引システムに関し、特に、システムの管理、運用が容易なウェブサーバ装置、電子商取引装置、電子商取引システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、例えばインターネット上に仮想店舗のサイトを構築するためには、モールの運営会社と契約してモール内に店舗を出店するか、あるいは自社のサ

ーバを使用して仮想店舗システムを構築することが行われていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 前記したような従来の仮想店舗形式において、例えば自社のサーバを使用する場合には、システムを全て自社で開発することは開発負担が大きく、また管理／運営にはHTML等に関する専門的知識等が必要となる。更に、Webシステムの規模が大きくなるほど画像や説明文等のコンテンツデータの管理／更新負担が増大し、運営が困難となるという問題点があった。

【0004】 また、モール上に店舗を出店する場合には、コンテンツファイルを運営会社にとってデータの更新を依頼する必要がある、店舗の構成やコンテンツの更新の自由度や即時性がなく、思い通りに運用出来ないという問題点があった。また、運用会社においては、コンテンツの更新処理の負担や出店会社からの要望に応じてシステムを変更するための処理負担が大きという問題点があった。

【0005】 本発明の目的は、前記したような従来技術の問題点を解決し、専門的知識が無い管理者でもシステム構成やコンテンツの更新、管理、運用を容易に行うことが可能なウェブサーバ装置、電子商取引装置、電子商取引システムを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明のウェブサーバ装置は、ページの内容に関するデータからなる複数のコンテンツファイル群とページ毎に当該ページとコンテンツファイルとの対応および他のページとのリンク情報を格納したデータベース手段と、ページ種別毎に用意された複数のテンプレートと、端末からの要求を分析し、所望のページに対応するテンプレートを読み出し、テンプレート内の変数をコンテンツファイルの内容あるいはリンクに書き換えることにより、所望のページに対応するHTMLファイルを生成する生成手段と、生成したHTMLファイルを端末へ送信する送信手段とを備えたことを特徴とする。また、上記ウェブサーバ装置を使用した電子商取引装置および電子商取引システムにも特徴がある。

【0007】 本発明によれば、データベースを使用して例えば仮想店舗のWebページの生成管理を行うので、ページ間のリンク構成やコンテンツの更新が非常に容易となり、HTML等に関する専門的知識がなくてもWebシステムを管理運営することが可能となり、特にWebシステムが大規模になるほど効果が増す。

【0008】 また、データベースにより販売する商品のデータを管理しているので、アクセスしてきた購入希望者がどの商品にアクセスしたかという細かいトラッキング情報を得ることができる。

【0009】 更に、システム管理者端末内のコンテンツ

データとサーバ内のコンテンツの同期を容易に取るアップローダを使用することにより、コンテンツの管理も容易にできる。また、データベース管理手段により、受注データを所望の任意の形式のレポートに加工して出力することができる。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を詳細に説明する。実施例としては、EC（電子商取引）システムに本発明のウェブ（Web）サーバ装置を適用した例として、例えばインターネット上に仮想店舗（ストア）を設ける例について開示する。

【0011】図1は、本発明を適用したEC（電子商取引）システム全体の構成を示すブロック図である。Web／アプリサーバ10は後述するようなプログラムを実装し、仮想店舗処理等を実行する。DBサーバ11は周知のRDBMS（リレーショナルデータベースマネジメントシステム）を搭載し、Web／アプリサーバあるいは外部からのDB処理要求に基づき、DB12に対して周知の処理を行って応答を返す。

【0012】ファイアウォール／ルータ13は予め設定されたフォーマットおよびアドレスのデータのみを通過させる周知のファイアウォール機能および周知のルータ機能を有する。LAN14は各サーバ間を接続する。なお、サーバシステムは自社のものでもよいし、ASP業者のものでもかまわない。また、当サーバシステムで複数の独立した仮想店舗の管理が可能である。

【0013】ストア管理端末16は、仮想店舗を運営する販売会社に設置された、例えば周知のインターネット接続可能なパソコン（PC）に後述するプログラムを搭載した端末である。なお、このストア管理端末16はLAN14に接続されていてもよい。顧客端末17は、各顧客が有する、例えば周知のインターネット接続可能なパソコン（PC）である。

【0014】図2は、本発明を適用したECシステムにおけるWeb／アプリサーバおよびストア管理端末のソフトウェア構成を示す機能ブロック図である。また、図3は、本発明を適用したECシステムにおけるサーバ、ストア管理端末、ユーザ端末の機能およびデータの関連を示す説明図である。

【0015】Web／アプリサーバ10には、例えばLinux（登録商標）などの周知のOS上にWebサーバ用プログラムおよび暗号化（SSL）モジュールを搭載し、更に、本発明の実施例の仮想店舗機能を実現するための各種プログラムが実装されている。マーチャントサーバ31は顧客のユーザ登録、ユーザ認証、商品カタログページの表示、ショッピングバスケットに関する処理など、顧客（ユーザ）アクセス時の各種処理を行う。

【0016】ストアマネージャサーバ32は店舗の管理者側に設置されたストア管理端末16からのブラウザ37によるアクセスによって、管理者の認証、DB内の各

種テーブルのデータを更新することによる商品登録、Webシステム編集等の各種管理を行う。

【0017】アップロードサーバ33は、ストア管理端末のアップローダ36と連携して、新規あるいは更新された商品に関するテキストファイルや画像ファイル等のコンテンツデータファイルをストア管理端末からアップロードする。

【0018】DBサーバ11には、例えばLinux（登録商標）などの周知のOS上に周知のRDBMSシステムを搭載する。RDBMSと外部のプログラムとはSQLなどの周知のプロトコルを使用してコマンド（クエリ）およびレスポンスのやり取りが行われる。

【0019】ストア管理端末16には、例えばWindows（登録商標）などの周知のOS上に、周知のブラウザ37およびアップローダ36、DBマネージャ35等の本発明の実施例の機能を実現するためのプログラムが実装されている。アップローダ36は、サーバ上のアップロードサーバ33と連携して、アップロードするファイルの管理を行う。即ち、端末16側にサーバ側と同じディレクトリ構造を設定しておき、端末側で当該ディレクトリ内のファイルの生成、更新を行った場合に、アップローダは、サーバ側のプログラムと連携して更新すべきファイルを選択し、必要なファイルのみをアップロードする（詳細は後述する）。

【0020】DBマネージャ35は、ストアマネージャサーバ32と同様に商品登録、Webシステム編集等の各種管理を行うことができる他、更に後述するような機能を有し、受注レポート等を生成して表示する。管理者はレポートの項目やフォーム、小計などを任意に設定することができる。

【0021】図8は、本発明のWebシステムの構成を定義するテーブルとデータの関係を示す説明図である。図8においては、1つの仮想店舗である食材ストアの定義データの構成を示している。本発明のシステムにおいては、ユーザを複数のグループに分けて、それぞれのユーザグループについて独立してWebシステム（ページデータ）を構築可能である。

【0022】図13はDBマネージャの「階層」定義データの登録画面例を示す説明図である。「階層」定義テーブルのそれぞれの「階層」はそれぞれのユーザグループのトップページ（ホームページ）と対応する。図13に示すように、階層定義テーブルには、階層コード、階層名、説明文、テンプレート情報、有効開始日、有効終了日、当該階層とリンクするディレクトリ情報（60）、ディレクトリの表示順等が登録されている。

【0023】図14はDBマネージャの「ディレクトリ」定義データの登録画面例を示す説明図である。「ディレクトリ」定義テーブルに登録されたそれぞれの「ディレクトリ」は、トップページ（階層）からアクセス可能な下位のそれぞれのページに対応する。図14に示す

ように、ディレクトリ定義テーブルには、ディレクトリコード、ディレクトリ名、説明文、エイリアス（商品を検索する場合のキーワード）、画像情報、テンプレート情報、有効開始日、有効終了日、ディレクトリ（ページ）内に登録（表示）される商品（あるいは他のディレクトリ）とのリンク情報61、表示順等が登録されている。

【0024】図15はDBマネージャの「商品」定義データの登録画面例を示す説明図である。図示するように「商品」定義テーブルには、商品コード、商品名、エイリアス、画像ファイルおよび詳細情報ファイル名62、説明文、有効開始日、有効終了日、商品の複数のバリエーション（項目、例えば10個入りと20個入りなどの個数の違い等）、標準価格、販売価格、表示順などが登録されている。商品はディレクトリに対応する画面において一覧表示される他、ユーザが当該商品をクリックした場合には当該商品単独表示画面に移行して詳細情報が表示されるようになっている。

【0025】本発明のWebシステムは、基本的にはユーザグループ毎のトップページ、ディレクトリに相当する下位ページ、商品単独表示ページの3階層の構成になっている。しかし、図8に示すように、例えば「野菜」のディレクトリ46の下位に「乾物」のディレクトリ47をリンクすることも可能であり、複数のページ（ディレクトリ）を用いて任意のツリー構造を構築可能である。

【0026】また、例えば「特選」ディレクトリ44は「店」ユーザグループおよび「得意個人」ユーザグループの双方とリンクしている。このように、各ディレクトリは任意の数の階層あるいはディレクトリとリンク可能である。

【0027】更に「今月のお勧め（来月）」ディレクトリ49のように、ディレクトリのみを作成しておき、どこにもリンクしないことにより、将来使用するディレクトリを予め作成しておくことも可能であり、サーバの時計情報に基づき、特定の期間のみ特定の階層とリンクを形成するように指定することも可能である。

【0028】上記の階層定義テーブル、ディレクトリ定義テーブル、商品定義テーブルは全てRDBMS30内に登録されており、管理者はDBマネージャ35あるいはストアマネージャ32（ブラウザ37）を使用して、ページ構成や商品についてデータの追加/変更が可能である。本システムを使用して店舗を開設する場合には、上記した3つのテーブルにそれぞれ必要なデータを登録し、コンテンツファイルをアップロードによりアップロードするだけで、Webシステムが完成する。

【0029】図7は、マーチャントサーバ処理を示すフローチャートである。S30においてユーザからの要求であるURLを受信すると、S31においては、ログオンの要求か否かが判定され、判定結果が否定の場合には

S32に移行する。S32においては、例えばユーザの操作によって当該ユーザが既にユーザ登録済みか否かが判定され、結果が肯定の場合にはS33に移行してユーザ認証を行い、また否定の場合にはS34に移行してユーザ登録処理を行う。S35においては、例えば発信者のIPアドレスから当該ユーザが既にログオン済みか否かを判定し、ログオン済みの場合には当該ユーザがどのユーザグループに属するかという情報をDBの会員テーブルから取得する。

【0030】S36においては、URLからリクエスト内容（ページ情報）を抽出する。URLには表示すべきページ（ディレクトリあるいは商品）情報と共に起動すべきCGIプログラム（マーチャントサーバ）名が含まれている。

【0031】S37においては、リクエスト（要求されたページ）と対応するディレクトリおよび商品のビューカウンタを+1する。DBを検索することにより、当該ディレクトリにどの商品が含まれているかが判明するので、例えば当該ディレクトリのカウンタおよびその中に含まれる商品と対応するカウンタをそれぞれ+1する。なお、ディレクトリ（ページ）を見ただけの場合と、商品の詳細表示ページを見た場合とで、当該商品にプラスするカウンタ値を異ならせたり、それぞれ別のカウンタを設けて計数してもよい。

【0032】S38においては、対応するテンプレートを取得する。図10は、トップページのテンプレートをブラウザにて表示した画面例を示す説明図である。また、図11は、ディレクトリに対応する下位ページのテンプレートをブラウザにて表示した画面例を示す説明図であり、図12は、商品詳細表示ページのテンプレートをブラウザにて表示した画面例を示す説明図である。各テンプレートはHTMLファイルであり、“\$”で始まる文字列は変数を示している。但し繰り返し表示される変数は1つのみ表示されている。なお、このテンプレートは予め用意されているが、ストア管理者が作成/変更したものをアップロードすることも可能である。

【0033】S39においては、DBを参照し、当該ページを表示するために必要なコンテンツ情報、即ち下位ディレクトリのURL、商品名や価格、説明文のテキストファイルや画像ファイルなどのコンテンツファイル名などを取得する。S40においては、ユーザグループ情報に基づき商品の価格を計算する。例えば得意客のユーザグループに属する客に対しては一般客よりも高い値引率を適用して価格を計算する。

【0034】S41においては、テンプレートの変数部分をコンテンツ情報に基づいて置換する。即ち、プログラムは変数を例えば下位ディレクトリのURL、商品名や価格、コンテンツファイル名などに置き換えることにより、HTMLファイルを完成させる。S42においては、生成したHTMLファイルおよび参照されている画

像ファイル等をユーザへ送信する。

【0035】以上のような構成および処理によって、ユーザからの要求に応じてDBを参照しながら必要なデータを生成してユーザに送信すると共に、ユーザが何を閲覧したかというトラッキングデータを収集する。

【0036】図4は、本発明のDBマネージャ35の構成を示す機能ブロック図である。DBマネージャ35は3つのブロックから成っている。レポートコンフィギュレータ20は、管理者から入力されるフォームの設定情報およびDB定義データに基づき、レポート定義データを生成する。レポートブラウザ21は、管理者から入力されたクエリー（問い合わせ：検索）条件に基づいて必要とするSQL文を生成してRDBMS30に送信する。RDBMS30は所望のレポートデータを生成して返送する。レポートブラウザ21はレポートデータを表示する。DBインターフェイス22は、フォーマットの変換処理等を行う。

【0037】図5は、本発明のレポートコンフィギュレータの処理内容を示すフローチャートである。S10においては、DBの各テーブルの項目の中でレポートで使用可能な項目のリストを左フレームに表示する。使用可能な項目は予め設定しておく。S11においては、使用者にレポートに必要な項目を右フレームにドラッグ&ドロップさせ、表示したい順に並べさせる。S12においては、レポートとして選択した項目の中から、小計や平均を算出させる項目を選択させる。

【0038】レポートは、表示順のトップの項目の内容によりソートされ、必要に応じてS12において設定された項目について小計や平均などのデータが算出されるので、使用者は表示順のトップの項目を所望の項目とするところにより、所望のレポートを得ることができる。S13においては、作成したレポートの定義を保存する。

【0039】図6は、本発明のレポートブラウザ21の処理内容を示すフローチャートである。ブラウザはユーザ（管理者）によって特定された条件にそってデータベースに問い合わせ（クエリー）検索をし、データベースからデータを取り出し、レポートを表示する。

【0040】S20においては、ストアマネージャ32を介して（認証を行って）RDBMS30にアクセスし、接続する。S21においては、保存されているレポート定義に基づき、レポート生成用のSQL文（クエリー）を生成する。S22においては、生成したクエリーをRDBMSに送信する。

【0041】RDBMS30はSQL文に基づき、各種のテーブルを参照して、小計や平均等の入ったレポートデータを生成し、返送する。なおこのようなRDBMSは公知である。S23においては、レポートデータを受信し、S24においてレポートを表示する。

【0042】図9は、アップローダ36の内容を示すフローチャートである。ストア管理者は予め、端末内にセ

ンター（サーバ）側と同一のフォルダ構成（名前や階層）を構築し、その中に各種コンテンツファイルを格納しておく。S40においては、ローカル（管理者端末）のフォルダをチェックし、ファイル名、作成日時、容量等のデータを得る。

【0043】S41においては、センター（サーバ）と接続する。S42においては、管理者の操作に基づき、変更分のみを更新（送信）するか否（全て送信）かが判定され、判定結果が肯定の場合にはS43に移行するが、否定の場合にはS46に移行する。

【0044】S43においては、センターのフォルダ内のファイル情報（ファイル名、作成日時や容量）を取得する。S44においては、ローカルにのみ存在する、あるいはセンターより作成日時の新しいファイルをアップロードし、センター内のファイルに上書きする。S45においては、センターにのみ存在するファイルを削除する。以上の処理によって、最小限のファイル更新処理によってローカルの内容とセンターの内容との内容が一致し、同期が取れる。S46においては、センタ内の全てのファイルを削除し、S47においては、ローカルの全てのファイルをアップロードする。

【0045】以上、本発明の実施例を開示したが、本発明には下記のような変形例も考えられる。実施例においては、電子商取引に本発明を適用する例を開示したが、本発明のWebサーバは任意のWebシステムに適用可能である。本発明のシステムを使用する場合、自社サーバ内にシステムを構築することも可能であるし、本発明のシステムを使用して多数の店舗が集合したショッピングモールを構築することも可能である。この場合、各店舗の管理はそれぞれの店舗の管理者が行うので、ショッピングモールの運営会社はモールシステムの管理のみを行えばよく、運営負担が減少する。

【0046】

【発明の効果】以上述べたように、本発明においては、データベースを使用して例えば仮想店舗のWebページの生成管理を行うので、ページ間のリンク構成やコンテンツの更新が非常に容易となり、HTML等に関する専門的知識がなくてもWebシステムを管理運営することが可能となるという効果があり、特にWebシステムが大規模になるほど効果が増す。また、データベースにより販売する商品のデータを管理しているので、アクセスしてきた購入希望者がどの商品にアクセスしたかという細かいトラッキング情報を得ることができるという効果がある。更に、システム管理者端末内のコンテンツデータとサーバ内のコンテンツの同期を容易に取るアップローダを使用することにより、コンテンツの管理も容易にできる。また、データベース管理手段により、受注データを所望の任意の形式のレポートに加工して出力することができるという効果もある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のECシステム全体構成を示すブロック図である。

【図2】本発明のサーバおよびストア管理端末を示す機能ブロック図である。

【図3】本発明のECシステムにおける機能、データを示す説明図である。

【図4】本発明のDBマネージャ35の構成を示す機能ブロック図である。

【図5】本発明のレポートコンフィギュレータを示すフローチャートである。

【図6】本発明のレポートブラウザを示すフローチャートである。

【図7】マーチャントサーバ処理を示すフローチャートである。

【図8】Webシステムを定義するテーブルとデータを示す説明図である。

【図9】アップローダ36の内容を示すフローチャートである。

【図10】トップページのテンプレート例を示す説明図である。

【図11】ディレクトリページのテンプレート例を示す*

*説明図である。

【図12】商品詳細表示ページのテンプレート例を示す説明図である。

【図13】「階層」定義データの登録画面例を示す説明図である。

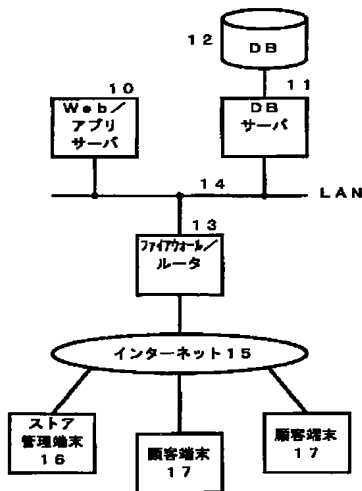
【図14】「ディレクトリ」定義データの登録画面例を示す説明図である。

【図15】「商品」定義データの登録画面例を示す説明図である。

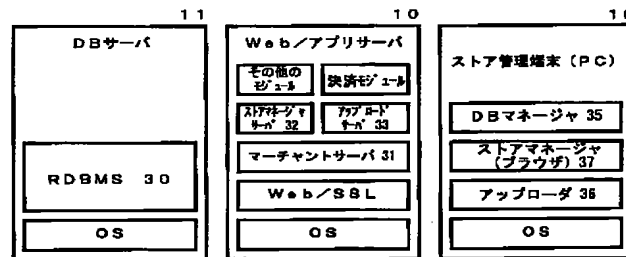
10 【符号の説明】

10…Web/アプリサーバ、11…DBサーバ、12…DB、13…ファイアウォール/ルータ、14…LAN、15…インターネット、16…ストア管理端末、17…顧客端末、18…DBマネージャ、20…レポートコンフィギュレータ、21…レポートブラウザ、22…DBインターフェイス、30…RDBMS、31…マーチャントサーバ、32…ストアマネージャサーバ、33…アップロードサーバ、35…DBマネージャ、36…アップローダ、37…ストアマネージャ、41、42、43…階層、44～49…ディレクトリ、60、61、62…リンク

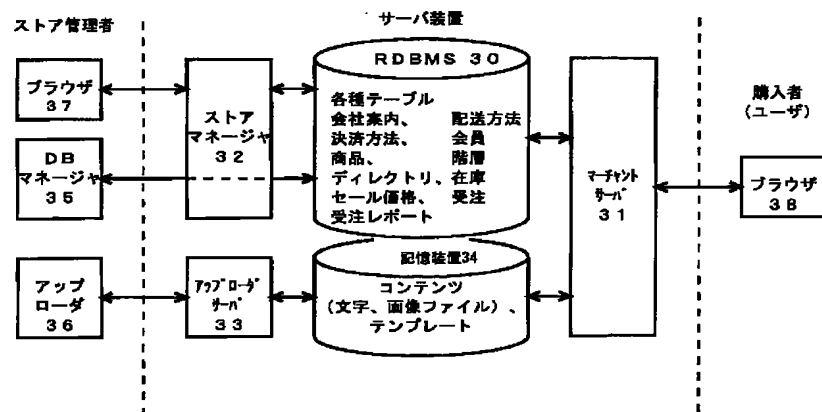
【図1】



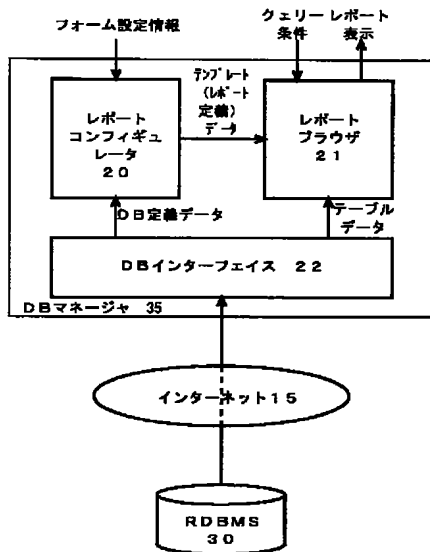
【図2】



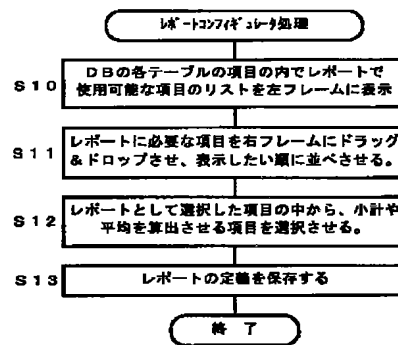
【図3】



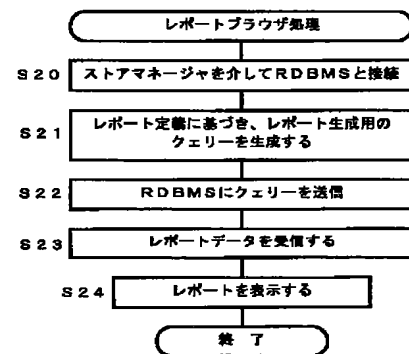
【図4】



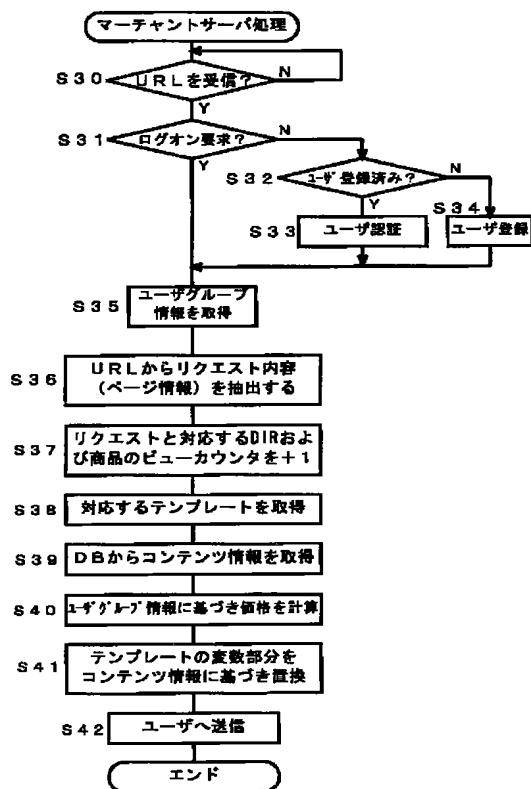
【図5】



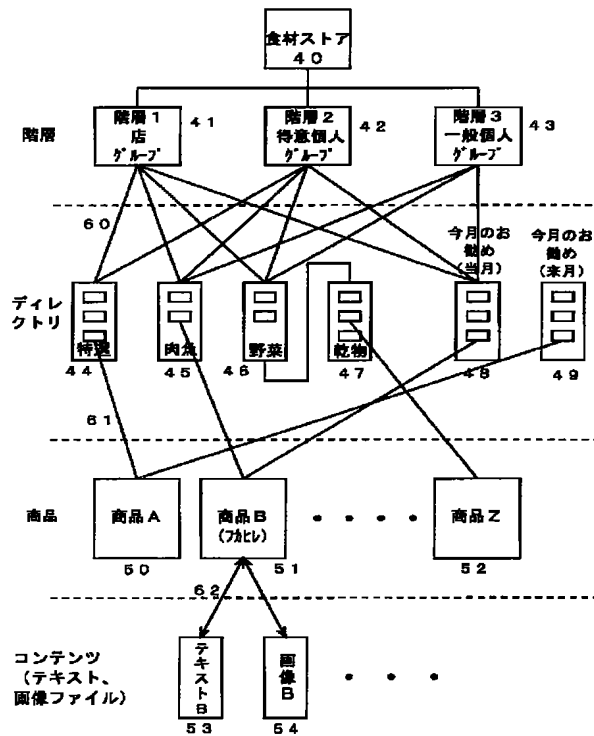
【図6】



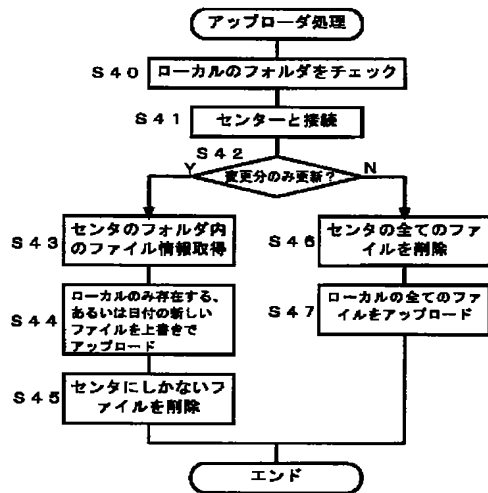
【図7】



【図8】



【図9】



【図10】

お花の専門店
花ざいку

Flower shop HANA ZA IKU

お花の専門店

- ・おすすめの商品1
- ・おすすめの商品2
- ・おすすめの商品3
- ・おすすめの商品4
- ・おすすめの商品5

NEWS
ここにショップニュースがはいります。是非ご利用ください。

検索

ID

パスワード

ログイン

メンバーページ

\$(DIR_MAP_NAME)

【図11】

お花の専門店
花ざいку

Flower shop HANA ZA IKU

お花の専門店

- ・おすすめの商品1
- ・おすすめの商品2
- ・おすすめの商品3
- ・おすすめの商品4
- ・おすすめの商品5

NEWS
ここにショップニュースがはいります。是非ご利用ください。

検索

ID

パスワード

ログイン

メンバーページ

\$(DIR_NAME)

\$(SUBPAGE_INDICATION)
\$(SUBPAGE_INDEXES)

\$(CATALOG_NAME)

\$(CATALOG_DESC)

\$(CATALOG_PRICE)

【図14】

DDD
デザート
カジュアルに四川料理を堪能しむのならデザートが一番です。
デザート
image
2001-03-22
2009-12-31

商品	000002	桃まんじゅう	1
商品	000003	胡麻団子	2
商品	000004	絹麦豆腐	3

【図15】

000003
胡麻団子
http://cgi/daasr/daasr.gif
image.txt
3. 所有権取得の旨のごまを付添い、丹波産山の小豆を使用した甘さを抑えたあんを使用しました。
2001-03-22
2009-12-31

000003-1	2個入り	500	400	1
000003-2	6個入り	1,000	900	2
000003-3	10個入り	2,000	1,800	3

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

3 1 0

5 0 4

Z E C

F I

G 0 6 F 17/60

テーマコード(参考)

3 1 0 E

5 0 4

Z E C